

業績リスト(過去3年)

* (1. 著書	2. 論文)	3. 訳書	4. 研究ノート	5. 書評
6. 調査報告書	7. その他文筆活動	8. 作品発表	9. 学会発表	10. 講義・講演
11. テレビ・ラジオ等出演	12. 公的活動	13. 研究助成採択	14. その他	

* (1. 著書 2. 論文)は別途掲載

中川 千恵美 (なかがわ ちえみ) [社会福祉学科 教授]

2022年

7. その他文筆活動

- ・中川千恵美,中島尚美. 研究成果報告書「児童虐待予防となる親性を育む有機的な連携実践モデルの構築」. 2022年3月

10. 講義・講評

- ・中川千恵美. 子ども食堂連絡会の研修講師. 近江八幡市. 2022年3月
- ・中川千恵美. 子育て支援員研修. 「子育て家庭の現状」「子ども家庭福祉」. 大阪市. 2022年10月
- ・中川千恵美. 利用者支援専門員(子育て支援員)基本型・特定型 eラーニング研修. 大阪府. 2022年10月
- ・中川千恵美. 出産育児課子育て世代包括支援センターSV研修. 摂津市. 5月～12月

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
中川千恵美	日本学術 振興協会 科学研究費 助成事業 基盤研究費C	児童虐待予防を目指す家庭養育推進ペアレンティングプログラム構築への開発的研究	2022年-2024 年度	416	中島尚美(大阪公立大学) 小山顕(関西学院聖和短期大学)
概 要 (薫英研究費・無)					
本研究は3年間の研究期間を通して、児童虐待発生予防を着実に進めるために、多職種連携を踏まえ、地域社会に多様なニーズを抱えた子どもと家庭が生活していることを視野に入れ、家庭養育を推進するペアレンティングプログラム開発を目指す。 まず点-in-しているこれまでのプログラムの現状を調査検討し、子どもと家庭のニーズやリスク段階に応じた家庭養育を推進するペアレンティングプログラムの開発研究を実施することである。					

14. その他

- ・東大阪市児童福祉専門分科会会長
- ・東大阪市子ども子育て会議委員(副会長)
- ・近江八幡市子ども子育て会議会長
- ・NPO法人 ほんわかハート(近江八幡市)運営委員
- ・池田市子ども子育て会議委員
- ・摂津市いじめ問題対策委員会委員
- ・摂津市男女共同参画推進審議会委員
- ・茨木市児童福祉審議会 会長
- ・東大阪市児童相談所設置準備検討部会部会長
- ・大阪市地域子育て支援拠点選定委員

2021年

7. その他の文筆活動

- ・中川千恵美. NPO法人ティピーによる「民間団体における切れ目ない子育て支援モデル事業」への評価 特定非営利活動法人 高槻子育て支援ネットワークティピー. 公益財団法人 l m o r e B a b y 応援団 助成事業実施報告書. 2021年3月

9. 学会発表

- ・中川千恵美, 中島尚美. 地域における家庭養育を促進する妊娠期からの有機的な連携について. 日本子ども虐待防止学会(Jaspcan)第27回学術集会 かながわ大会. 公募シンポジウム企画代表かつ企画趣旨及び研究まとめ等報告. 神奈川県. 2021年12月

10. 講義・講演

- ・中川千恵美. 子育て支援員研修. 「子育て家庭の現状」「子ども家庭福祉」. 大阪市. 2021年9月
- ・中川千恵美. 利用者支援専門員(子育て支援員)基本型・特定型 eラーニング研修. 大阪府. 2021年10月
- ・中川千恵美. 出産育児課子育て世代包括支援センターSV研修. 摂津市. 6月～9月, 11～12月

13. 研究助成採択

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
中川千恵美	日本学術 研究振興会 (科学研究) 基盤C	児童虐待発生予防となる 親性を育む有機的な連携 実践モデルの構築	2017年度から 開始 2021年度 終了	約148万	中島尚美(大阪市立大学)
概 要					
本研究題目での5年目であるが、前回の科学研究助成研究の継続研究として位置づけた内容である。本年は、夏休み等時に緊急事態宣言の発出もあり、コロナ感染拡大防止で当初予定していた先進現場への訪問も中止せざる負えなくなった。 今年度は、健全育成系と社会養護の枠組みにとらわれず、地域社会には多様なニーズを抱えた子どもと家庭が生活していることを視野に入れ、検討を進めた。具体的には、地域子育て支援拠点事業での父親を対象としたプログラムのしかけとその展開、子育て世代包括支援センターにおけるマネジメント機能からの展開、さらに地域の子ども達を妊娠期から育む機能を有する複合施設の存在とその支援の展開から、利用者家庭のニーズを踏まえた妊娠期からの地域における家庭養育を推進する連携体制を検討した。その成果を日本子ども虐待防止学会第27回学術集会かながわ大会での企画代表として、公募シンポジウムを企画し、学会で採択され、実施した。さらに、児童虐待発生予防につながる、連携についての機能的な「つながり」についての型を抽出することに着眼する。さらに親性準備性についても視野に入れた連携を促進している先進的実践現場での事例検討研究会を開催し、検討を深めていく。 最終年として、この間の小さな研究成果ではあるが、報告書作成を進める。					

14. その他 社会活動

- ・東大阪市児童福祉専門分科会会長
- ・東大阪市子ども子育て会議委員(副会長)
- ・近江八幡市子ども子育て会議会長
- ・NPO法人 ほんわかハート(近江八幡市)運営委員
- ・池田市子ども子育て会議委員
- ・摂津市いじめ問題対策委員会委員
- ・摂津市男女共同参画推進審議会委員
- ・茨木市児童福祉審議会 会長

2020年

9. 学会発表

- ・中川千恵美, 中島尚美, 妊娠期からの継続した養育支援体制構築に向けた連携を機能させる社会福祉士の役割, 日本子ども虐待防止学会第26回学術集会, いしかわ金沢大会, 2020年12月

10. 講演

- ・中川千恵美, 子育て支援員研修, 「子育て家庭の現状」「子ども家庭福祉」, 大阪市, 2020年9月
- ・中川千恵美, 利用者支援専門員(子育て支援員)基本型・特定型 eラーニング研修, 大阪府, 2020年10月
- ・中川千恵美, ソフトなまちづくりを考える～団体のコーディネートからまちづくりを考える, 摂津市生涯学習大学, 2020年10月
- ・中川千恵美, 児童虐待発生予防とソーシャルワーク, 公開講座2020 子どもの生活を支援する, 大阪人間科学大学, 2020年11月

13. 研究助成

研究代表者	研究助成者	研究題目	研究年度	助成金額 (万円)	分担者 (含他所属)
中川千恵美	日本学術 研究振興会 (科学研究) 基盤C	児童虐待発生予防となる 親性を育む有機的な連携 実践モデルの構築	2017年度から 開始 2021年度 終了	156万円 (直接経費 120万円、 間接経費 36万円)	中島尚美(大阪市立大学)
概 要					
本研究題目での4年目であるが、前回の科研研究助成研究の継続研究として位置づけた内容である。本年は、コロナ感染拡大防止で当初予定していたフィンランドでタンペレ大学での報告や交流視察をはじめ、先進現場への訪問も中止せざる負えなくなった。 可能な範囲で児童虐待発生予防となる指標作成に向けた、妊娠期からの切れ目ない支援の中核を担う母子保健事との多職種連携について、社会福祉士の役割を整理した。その成果をJaSPCANでの口頭発表を行った。さらに、児童虐待発生予防につながる、連携の課題特に、福祉の立場での子育て世代包括支援センターのよりより機能の在り方に着眼し、先進自治体での現状整理を進めていく。 今後は、その親性準備性について、社会養護の支援をする実践者へのヒアリングや、若者・学校保健の実践者への聞き取り等を進め、親準備性や虐待発生予防についての指標化を進めていきたい。					

14. その他 社会活動

- ・東大阪市児童福祉専門分科会会長
- ・東大阪市子ども子育て会議委員(副会長)
- ・近江八幡市子ども子育て会議会長
- ・NPO法人 ほんわかハート(近江八幡市)運営委員
- ・池田市子ども子育て会議委員
- ・摂津市いじめ問題対策委員会委員
- ・摂津市男女共同参画推進審議会委員
- ・茨木市児童福祉審議会 会長